

RUVAC WSU501 ルーツ真空ポンプのメンテナンス

真空ポンプの性能を最大限に発揮させ故障を防ぐためには定期的なメンテナンスが必要です

① 日常的な点検

オイルの残量をチェック

ポンプを停止させ、オイルサイトグラス部で点検。

オイルを注入する場合は必ずポンプを停止させ、**大気開放してから**注入してください。

オイルの色と漏れをチェック

通常、オイルは透明です。黒ずんだ場合は交換してください。

劣化したオイルの使用は故障の原因となります。



汚れのレベルが2.0以上の場合、交換が必要です

ポンプのノイズをチェック

ポンプ運転初期値のノイズから変化が見られるかを観察してください。

ポンプの温度をチェック

同じ個所のポンプケーシング表面温度の変化を観察してください。

ポンプの表面温度は条件により異なりますが、80℃近くになる場合があります。

ポンプの使用環境温度は12℃から40℃です。

温度が高い場合はポンプ設置場所の通気または冷風機を設置し、条件の範囲内で使用してください。

② 定期点検

オイル交換（ギヤボックス）

初回は500時間、2回目以降は3,000時間運転後。

オイルの汚れが激しい場合は必要に応じて行ってください。

オイル：LEYBONOL LVO100 1L：注文番号 L10001 5L：注文番号 L10005

プラグガスケット（10個入）：注文番号 ES23955165 （1台当たり6個使用）

必要オイル量は水平排気で0.7L、垂直排気で0.8Lです。オイルはギヤ側からポンプ内部を通りモーター側に流れます。オイル量が安定するまで（約10分）待ってから、オイルレベルを確認してください。

モーターファン・カバーの清掃

設置環境に埃や汚れが多い場合、定期的にモーターファンカバーを清掃してください。

ダートトラップの清掃

排気速度が低下した際に清掃してください。

排気チャンバー内の清掃

汚れに応じて清掃してください。

柔らかい汚れの場合、エアブローもしくは洗浄液で清掃することができます。

頑固な汚れがある場合は、分解しオーバーホールする必要があります。

圧カバランスラインのバルブの清掃

必要に応じてバルブを清掃してください。

③ 定期オーバーホール

標準仕様は3年ごと、または20,000時間を超えた時点の実施を推奨します。

作業内容

ポンプの分解、清掃

各種消耗部品の交換（Oリング、ガスケット、ピストンリング、ベアリング等）

各種部品の検査

組立

運転テスト及び能力確認

詳しくはライボルト株式会社 技術・サービスセンターまでお問い合わせください。

〒305-0854 茨城県つくば市上横場1959

TEL：029-839-5480 / FAX：029-839-5485